

FUJITSU Integrated System PRIMEFLEX for Nutanix Enterprise Cloud

設定変更手順書

本書について

本書は、FUJITSU Integrated System PRIMEFLEX for Nutanix Enterprise Cloud (以降、PRIMEFLEX for Nutanix) の設置と電源ケーブル接続後、クラスタを構築開始する前に工場出荷されてきた状態から、最初に設定変更が必要な箇所について説明します。

注意：下記の PRIMEFLEX 構築サービスをご利用された場合は、本書の手順は実施不要です。付録を参照してください。

- PRIMEFLEX for Nutanix(AHV クラスタ) 基本構築サービス
- PRIMEFLEX for Nutanix(AHV クラスタ) ノード設定サービス

対象のモデルについて

本書の対象のモデルは、以下になります。

- XF3070 M3
- XF8050 M3
- XF8055 M3

本書の表記について

- 重要な注意事項の一覧
本書に記載している重要な注意事項は以下のとおりです。



ヒント

概念の理解や操作の手助けとなる情報であることを示しています。



注

概念の理解や操作における注意事項であることを示しています。



警告

正しく使用しない場合、軽傷、または中程度の傷害を負うことがあり得ることと、当該製品自身またはその他の使用者などの財産に、損害が生じる危険性があることを示しています。

- 変数：<xxx>
使用環境に応じた数値/文字列に置き換える必要のある変数を表します。
例：<IP アドレス>

設定に必要な機材

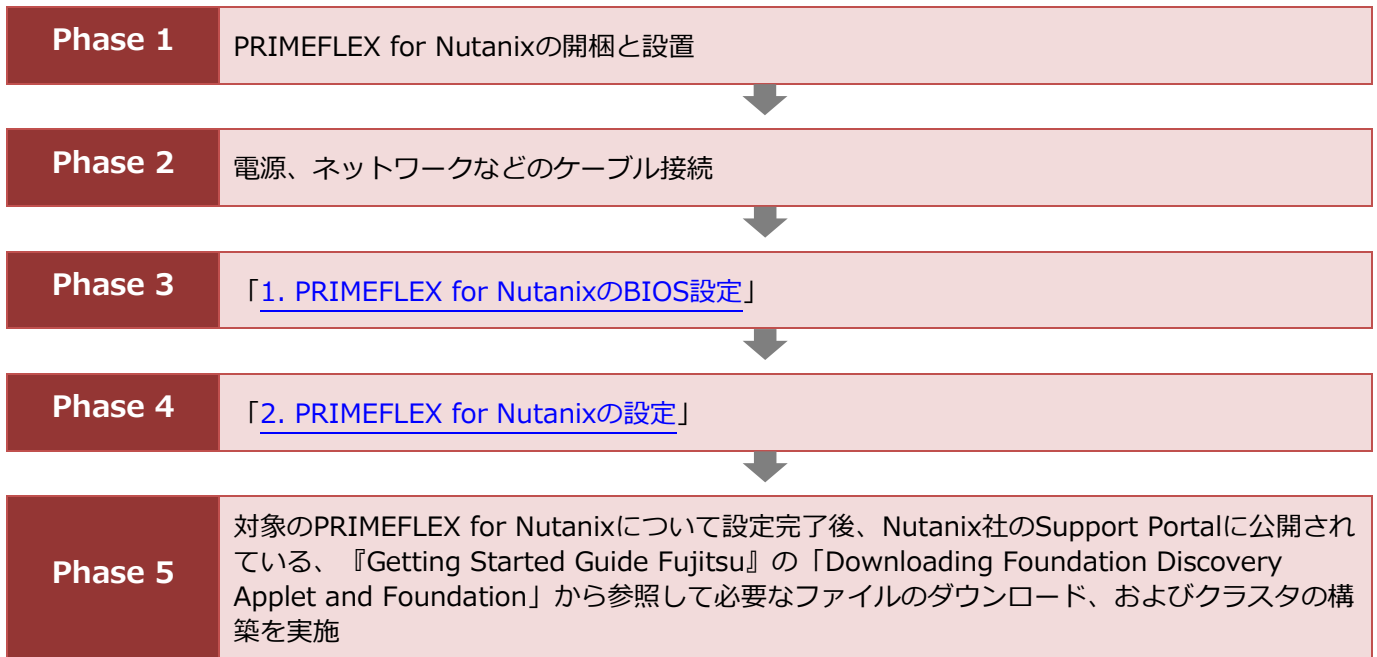
本設定に必要な機材は、以下になります。事前に準備してください。

- キーボード
- ディスプレイ
- クライアント端末

本書とクラスタ構築までの流れについて

クラスタ構築開始までの全体の流れを以下に示します。

本書では「Phase 3」と「Phase 4」について記載します。



1. PRIMEFLEX for Nutanix の BIOS 設定

工場出荷時は全ての PRIMEFLEX for Nutanix に同じ iRMC の IP アドレスが設定されています。
設定対象の PRIMEFLEX for Nutanix の BIOS 画面より一台ずつ、個別の iRMC の IP アドレス設定をしてください。



注

全ての PRIMEFLEX for Nutanix に同一の IP アドレスが設定されているため、この時点では PRIMEFLEX for Nutanix とスイッチは接続しないでください。

手順

1. BIOS セットアップ画面を開き、[Information]を選択し、System Date/System Time を UTC(日本時間-9 時間となる日時)に設定します。
2. [Management] - [iRMC LAN Parameters Configuration] を選択し、[Enter] キーを押下します。
3. 次のように設定します。

設定項目	設定値
Management LAN	<Enabled>
iRMC IPv4 LAN Stack	<Enabled>
IP Configuration	<use static configuration>
IP Address	当該 PRIMEFLEX for Nutanix の iRMC の IP Address を設定してください。
Subnet Mask	当該 PRIMEFLEX for Nutanix の iRMC の Subnet Mask を設定してください。
Gateway Address	当該 PRIMEFLEX for Nutanix の iRMC の Gateway Address を設定してください。
iRMC IPv6 LAN Stack	<Disabled>

4. [Esc] キーを押し、前のメニューに戻ります。
5. [Exit] タブを選択し、[Commit settings and Exit] を選択します。
6. 「Commit settings and exit? Press 'Y' to confirm, 'N'/'ESC' to ignore.」画面で [Y] キーを選択します。
BIOS 設定画面が完了したら、PRIMEFLEX for Nutanix の電源を停止します。
7. すべての PRIMEFLEX for Nutanix で手順 1~6 を繰り返します。

設定完了後、PRIMEFLEX for Nutanix をネットワークケーブルで、お客様のネットワークスイッチに接続してください。

2. PRIMEFLEX for Nutanix の設定

「[1. PRIMEFLEX for Nutanix の BIOS 設定](#)」で設定した iRMC の IP アドレスを使用して、各 PRIMEFLEX for Nutanix の iRMC に接続します。ここでは、iRMC のパラメーターを構成します。

コンポーネントの準備

■ Java

iRMC のビデオリダイレクション (AVR) で使用します。

以下の URL から『AVR の起動手順と動作確認情報』を参照してください。

- FUJITSU Server PRIMERGY における留意事項

<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/>

■ Web ブラウザ

Web インターフェイス・アクセスに使用します。「Mozilla Firefox」または「Google Chrome」が使用可能です。

作業に使うクライアント端末を、PRIMEFLEX for Nutanix とネットワークスイッチに接続されているネットワークに接続してください。クライアント端末から、iRMC Web インターフェイスへアクセスしてください。iRMC Web インターフェイスのデフォルト・ログインは以下のとおりです。

項目	入力値
Web ブラウザの URL	https://<iRMC の IP アドレス>/
ユーザー名	admin
パスワード	admin

2.1. iRMC Local Accounts

iRMC Web インターフェイスで使用されるデフォルトの [admin] アカウントのパスワードを、お客様が決められたパスワードに設定する必要があります。

手順

1. iRMC Web インターフェイスにアクセスします。
2. [EULA] 画面が表示された場合、[Accept] をクリックします。
3. iRMC Web インターフェイス画面から、
[Settings] - [User Management] - [iRMC Local UserAccounts] - [admin] - [Edit] を選択します。
4. [User Information] タブが選択されていることを確認し、以下のように設定して、[OK] を選択します。

設定項目	設定値
Enable User	オン
Name	admin
Password	お客様が決められたパスワード
Confirm Password	お客様が決められたパスワード

2.2. iRMC DNS 設定

手順

1. iRMC Web インターフェースにアクセスします。
2. iRMC Web インターフェース画面から [Settings] - [Network Management] - [DNS] を選択します。
3. 以下の設定を行って、[Apply] を選択します。

設定項目	設定値
Enable DNS	オン (デフォルト)
DNS Configuration	オフ (デフォルト)
DNS Domain	お客様環境でご利用の Domain 名
DNS Search Path	お客様環境でご利用の Domain 名
DNS Server 1	お客様環境でご利用の Domain Server (Primary)
DNS Server 2	お客様環境でご利用の Domain Server (Secondary)
DNS Server 3	空欄 (デフォルト)
DNS Retries	2 (デフォルト)
DNS Timeout	5 (デフォルト)

2.3. iRMC NTP 設定

手順

1. iRMC Web インターフェースにアクセスします。
2. iRMC Web インターフェース画面から [Settings] - [Baseboard Management Controller] - [Time Synchronization] を選択します。
3. 以下の設定を行います。

設定項目	設定値
Time Mode	"NTP Server"
RTC Mode	グレーアウト(デフォルト)
Time Zone	装置設置場所に準じた Timezone を設定してください。
Primary NTP Server	お客様環境でご利用の NTP Server (Primary)
Secondary NTP Server	お客様環境でご利用の NTP Server (Secondary)

4. [Apply] - [NTP Update] を選択します。

2.4. OS の設定

手順

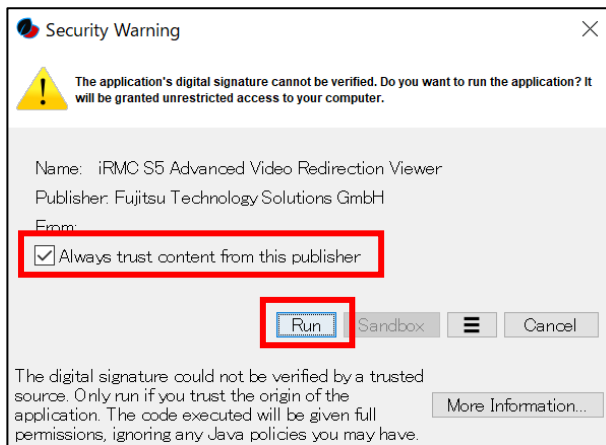
1. iRMC Web インターフェースにアクセスします。
2. iRMC Web インターフェース画面から [Start Video Redirection] をクリックし、ビデオリダイレクションを起動します。

- Security Warning 画面が表示された場合

- a. [Always trust ...] にチェックを入れ、 [Yes] を選択します。



- b. [Always trust ...] にチェックを入れて、 [Run] を選択します。



3. 次の画面が表示されるので、次の内容でログインします。

```
Nutanix AHV
MA6D006648 login: root
Password:
```

項目	入力値
login	root
Password	nutanix/4u


 注 OS が起動していない場合は、PRIMEFLEX for Nutanix の前面の電源スイッチを押して、OS を起動させてください。

ログインができるとプロンプトが表示されます。

```
root@ahv#
```

4. 次のコマンドを実行します。

```
root@ahv# /root/nutanix-network-crashcart/network_configuration
```

 注 すべてのサービスが起動する前にコマンドを実行すると、設定画面が起動しない場合があります。しばらく待ってから再度実行してください。

5. 次の画面が表示されるので、以下の設定を実施し、[Done] を選択します。

```

<< Nutanix Network Configuration >>
<< Storage Network Configuration >>
Choose Ethernet Devices : [ ] eth0 [ ] eth1 [ ] eth2 [ ] eth3

Vlan tag          :
VSwitch MTU      : 1500
Netmask          :
Gateway          :
Controller VM IP :
Hypervisor IP    :

***** Network card details (showing 4 of 4)*****
iName  :Description  :Mac Address  :Max Speed  :Link  :
ieth3  :Ethernet    :68:05:ca:de:9c:17 :10000Mb/s  :yes   :
ieth2  :Ethernet    :68:05:ca:de:9c:16 :10000Mb/s  :yes   :
ieth1  :Ethernet    :68:05:ca:de:9b:af :10000Mb/s  :yes   :
ieth0  :Ethernet    :68:05:ca:de:9b:ae :10000Mb/s  :yes   :
!
*****
Done      Cancel

```

設定項目	設定値
Choose Ethernet Devices	eth0～eth<xx> : 選択する
Vlan tag	(空欄)
VSwitch MTU	1500 (デフォルト)
Netmask	「 1. PRIMEFLEX for Nutanix の BIOS 設定 」で設定した、当該 PRIMEFLEX for Nutanix の iRMC の Subnet Mask を設定してください。
Gateway	「 1. PRIMEFLEX for Nutanix の BIOS 設定 」で設定した、当該 PRIMEFLEX for Nutanix の iRMC の Gateway Address を設定してください。
Controller VM IP	当該 PRIMEFLEX for Nutanix の Controller VM の IP を設定してください。
Hypervisor IP	当該 PRIMEFLEX for Nutanix の Hypervisor の IP を設定してください。

6. 処理が完了し、以下のメッセージが表示されることを確認します。

```
"INFO Network configuration successful!"
```

7. 次のコマンドを実行し、ログアウトします。

```
root@ahv# exit
```

8. ビデオリダイレクションを終了します。
 9. クライアント端末から、設定した Controller VM IP や、Hypervisor IP に ping コマンドを発行して、疎通確認をしてください。確認ができない場合は、再度、手順 1.から実施してください。
 10. すべての PRIMEFLEX for Nutanix で「[2. PRIMEFLEX for Nutanix の設定](#)」の作業を実施します。

以上で、クラスタ構築前の設定変更は終了です。

付録 A : 論理ドライブ番号について

PRIMEFLEX for Nutanix の論理ドライブ番号と Prism 画面の論理ドライブ番号が異なります。

PRIMEFLEX for Nutanix の論理ドライブ番号と Prism 画面の論理ドライブ番号の対応は以下のとおりです。

PRIMEFLEX for Nutanix の 論理ドライブ番号	Prism 画面の 論理ドライブ番号
0	1
1	2
2	3
3	4
4	5
5	6
6	7
7	8
8	9
9	10
10	11
11	12

PRIMEFLEX for Nutanix の 論理ドライブ番号	Prism 画面の 論理ドライブ番号
12	13
13	14
14	15
15	16
16	17
17	18
18	19
19	20
20	21
21	22
22	23
23	24